

編集後記

『東海学園 言語・文学・文化』第十六号（通巻第七十五号）をお届けいたします。『東海学園国語国文』（一九七〇—二〇〇一年）の後続雑誌として装いを新たにした本誌も今年で十六年目を迎えました。今回も「言語・文学」にとどまらない「文化」の領域を含む論考六本、翻刻紹介一本が集まり、掲載することができました。すでに退職された先生や、まもなく退職される先生もおられ、今後の学会の行く末に不安を覚えつつありますが、今後も会員の皆様の研究を自由に発表できる雑誌としてあり続けたいと思います。会員の皆様からのご投稿をお待ちしております。

（小野）

東海学園 言語・文学・文化

第十六号（通巻第七十五号）

平成二十九年 三月二十日 印刷
平成二十九年 三月三十日 発行 非売品

編集 名古屋市中平区中平二丁目九〇一番地
発行 東海学園大学日本文化学会

代表 小林 幸夫

電話 (五三)八〇一—二二〇一

振替 〇〇八三〇一五—二九三二二

印刷所 豊橋市下地町字宮腰二四

(有) イシグロ 高速印刷